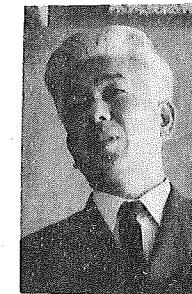


度毎に思うことは、
すぎ去った一ヵ年、
私共は、社会に——
畜産農民——に対し、
何をどのような形で
貢献しただろうか、
という反省と、今後
の一ヵ年をどのように
に働きば、みんなの
人に喜こんでいただき
けるだろうか、とい
う不安である。
もちろん、産業と
しての日が浅い酪農、
養豚であるだけに、
問題点も極めて多い
ので、私共は国の試
験場を中心とし、全
力するため、野外で集団的に管理する
化試験を最重点課題として取りくんてい
るが、新しく今年から、乳牛の哺育期に
おける省力管理技術を明らかにするとと
もに、乳牛の肉利用について、その経済
性を追及したいと計画している。

つまり、乳牛の省力管理については、
個体を対称としてはミルカー・カウトレ
ーナー等のような管理器具が既に実用化
され多頭化を促進し、集団を対称として
はルーズバーン方式の採用や、育成期の
放牧によつて省力化がはかられているが
ただ、生後一二〇日令頃までの哺育期に
ついては、早期離乳や、バケツによるガ
ブ飲み、自由飲水等の個別技術が開発さ
れてゐるにすぎない。

したがつて、この哺育期を徹底的に省
力するため、野外で集団的に管理する



今年やりたいと考えていること

A black and white photograph of a middle-aged man with a mustache, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is smiling and has his hands clasped in front of him at waist level.



明けまして御目出度存じます。皆様には御元氣で新春を御迎えになつた事と存じ、謹んで本年の多幸を御祈り申上げます。

賀正

懲津律十

撤して参りましたが、いつかは脱皮で日本独自の畜産形態を創造しなくてはなりますまい。

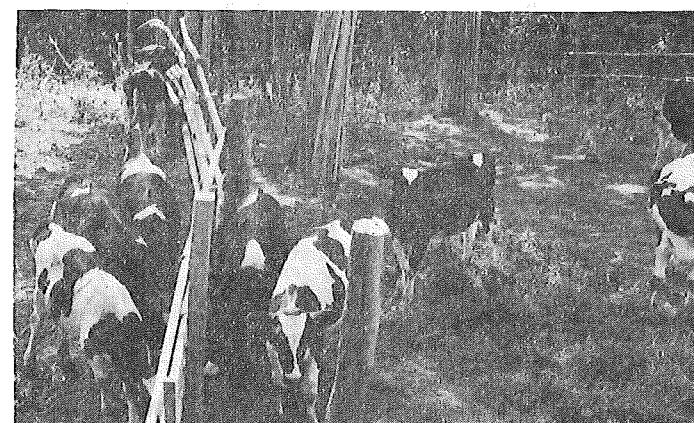
どうか。極めて興味ある問題であります。日本経済は限りなく成長して行くものと思います。欧米をしていくものと思います。欧米を旅行した人々が彼地の事例を引出し、その中で畜産も限りなく成長していくものと思います。欧米をしていくものと思います。欧米を旅行した人々が彼地の事例を引出して、私共をうらやましがらしておりますが、その境地に到達するところが理想の姿といえましようか私共は今まで随分歐米の畜産を模

も消費者も含めて大衆の力で解決しなければならなくなりました。お互に立場のみの主張は決してよい方向には進まないでしょう。

酪農なんかまさにそのとおりだと思います。乳価のみに目を注いでいたのでは決して経済の向上にも経営の改善にもなりません。世界酪農の波にもまれてこそ、筋合の入った日本酪農が誕生するものだと思います。

感ぜられます。
もっと安定して、どっしり腰をおろしてやれる農業状態に早く移行したいものです。そうなると後輩者問題も解決しましょう。私達は更に欧米のみならず、非常に身近にあるアジアの畜産状態をもともっと深く研究して日本畜産の方向を定める一助とする必要があるのではないか。

国内の畜産物の需要を満たすために、精一杯の努力が払われているのが現状といえましょうが、何



(哺育期の野外集団飼育)

を加え、将来一代雜種の利用が実用化に移されようとした場合の資料として提供する計画である。

以上が乳牛について今年の柱となる試験課題であり、豚に関しては、萎縮性鼻炎に汚染された地域から、清浄な子豚をうるためにはどのような管理をしたらよいか、ということを中心課題としながら昨年末静岡県から導入したランドレース

品質保証・雪のマーク

自給飼料生產

「草づくり」を高めよう

雪印種苗株式會社

岡山営業所／岡山市巖井1482の1 TEL岡山(52)0395

年頭所感

岡山県和牛試験場長



農業構造改革を必要なものとされて参りました。このように、農村社会の現実の姿は、農業そのものの開発を支配される諸条件の厳しさから、一面には農業に対する意欲が無気力な側面があり、反面には寧ろ自發的に奮起する意欲的な側面が見られるわけであります。そこで、これら農業經營の合理化のための指導的背景には、農家個々の經營の実態を農家の立場にたって觀察し、問題点を摘出し、これを細分化し、結合し、組立てて、これらの裏付けを基礎に技術的、經濟的、行政的な施策が要請されるものと思ひます。このような観點から、我々が担当している和牛の經營及び技術的な試験研究の組立て方の基本的の姿勢は、前述のとおり、和牛經營の実態に対応した実証試験

渡辺滋樹

き御活用願いたいと考えます。

山山麓の試験場用地一〇一ヘクタールの草資源に挑み、蘊奥の技術の探究と試験研究に、全精力を傾倒する方針であり、その概要是次のとおりであります。

その一つは、和牛の育種的改良であります。和牛の造成は、從来から、中國地方のお家芸として誇って參りましたが、最近の和牛飼養頭数の分布の状勢から、和牛はもはや風土の產物だけではかたづけられない。既に東北、北海道、九州などの既往の馬産地が、広大な原野を利用し、和牛の新興産地として、技術的にも、經濟的にも、政治的にも力強い歩調で推進せられつつある現状は、無視できない事実であります。そこで、先進を誇る岡山県の和牛改良の位置づけは、お座なりの

改良手段では許せない状勢になつてまいり、原種又は原々種の造成県として、形質、能力ともに最も優れた経済性の高い優秀な和牛を作出すことに狂奔すべき状勢に迫られ、明日への大きな命題であることを存じます。即ち、このよきな時勢に対応し、和牛改良上最も影響の大きい優良種雄牛の確保と、これの効率的利用のために死力をつくしておられます。即ち、その二は、和牛の経営ならびに管理技術の実証試験の実施であります。

本年度からは、大佐山山麓の広大な試験場におきまし、試験場における近代的優良種牛の造成のための交配試験を実施しながら経営試験の素材として活用し、効率的利用をはかります。

その三は、和牛技術者の養成であります。農業後継者の養成の一環として、和牛経営並びに技術の伝習を目的に、従来講習規程により講習生の募集をしてきましたが、昭和四十三年度から新たに設置が予定される農業大学校制度の課程の中で和牛専攻生として一年間実務の研修を行なうことを希望します。

生産經營における経済性を追求するため、生産費低減のための試験研究と、更に省力多頭化による技術体系の確立、ならびに肥育經營における肥えい性向上的ために、健全なる精液を採取し、これの効率的利用をはかり産牛改良発展のために貢献したい考えであります。また、種雌牛は、育種改良の立場から、優良種雄牛との計画交配により形質、能力の高い肉牛を生産するための対策を目途とした、草地造成法と維持管理並びに産肉性の高い草種の選定など今後の究むべき重要な課題として取り上げて行く方針であります。

その下に、施設、内容ともに充実し真の和牛のメカとして然も、農家のバイロットファームとしての試験研究を行ない、日本唯一の試験場としてゆくべく職員一同、希望と夢をもって惜しみない努力を傾けております。今後一層の御支援と御指導をお願いします。

最後に、昭和四十三年は農家の皆さんのが我が家農業経営の眞の姿を静かに反省し、自立経営としての問題点を探究したが、昭和四十三年度から新たに設置されたが予定される農業大学校制度の課程の中実を挙げられますことを祈念して年頭の所感を述べます。

用のために死力をつくしておられます。即ち、優良種雄牛の集中管理により、個体相互の優位性の検討本年度からは、大佐山山麓の広大な試験場の立地を生かし、農家に実用化できる試験研究を引き続き実施する計画であります。特に、最近和牛飼育頭数の拡底と、け入れることとしています。

術の実証試験の実施であります。本年度が予定される農業大学校制度の課程の中では和牛専攻生として一年間実務の研修を行なう予定であります。が、更に、状勢の許す限り希望に応じ短期研修生を隨時受

年頭偶感

岡山県養類試験場長

川崎

三

お 知 ら せ

讀んで新春の御慶として全国的には二、四一六億円であり、岡山県としては一、〇二一萬円であります。養鶏産業は生産額って、農業の中では米について第二位を

また生産量は三十五年を基準にします
直めており重要産業として認められて
います。

と、鰐卵は二倍に、ブロイラーは五倍に達し大きな伸展を示しております。

所得に依存する率が六五%を超え、また農業所得のみで、家計費の全部を充足している農家は、一六万二、〇〇〇戸の僅

が遂次ふえていることを思うとき、新しい技術開発の重要性を改めて痛感している私達である。

微力ながら、今年から新しくとりくもうとしていることを申述べ、新春第一号の醸試だよりとします。

特集座談会

後継者を育てる

出席者

惣 津 律 士	(岡山県酪連會長) 岡山県畜産会々長
池 田 馨	(岡山県普及教育課) 課長補佐
小 郷 文 雄	(岡山県畜産課) 養鶏係長
藏 知 穀	(岡山県畜産会) 事務員

坂田七五三男 (吉備郡高松町)
肉牛肥育業
中山毅 (上房郡北房町)
酪農業
藤定彰 (岡山市福田町)
養鶏業

たしかに後取りは減つた

反対に親がしっかりと経営をしていくところは、若いものがはっきりした自信をもって後継者となる意志を持っていられる、これらをよく検討すれば自ずと解決も出てくると思われますが、皆さん方のいろいろなお話をひとつザック・バランにおきかせいただきたいと思います。

池田さん、県の農村青少年対策というものはどうでしょうか。

が、若いもののものの考え方が都市も農村も同じになってきたこと、そして農業経営の不安、斜陽化ムードが若いものの職業選択に影響してきていると思ひます。反対からみれば親自身が農業経営に自信を失ってきている、若いものに気がねしているとも思われる、これらのこととが重なって若いものが農村から離れてゆくことは、これから農業は都市の勤労者と同じ所得をあげることを目標としなければならないのですから、相当規模拡大が必要です。県では農業振興計画にもござっています。

かましくいわれております。これにはやはり原因があるわけですね。

それは、若いものが職業の選択の自由から、職業としての農業に魅力が薄らいできている、つまり経済的に生産性も収益性も低いということが若いものに影響していると思われます。

もう一つは都市と農村の交流が盛んになり、農村も生活様式が都市化している

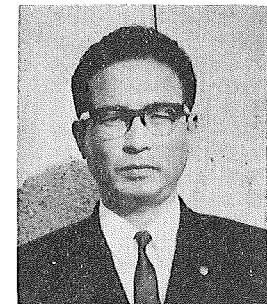
高校卒は三十年一八九三人が四十年には〇〇人で、一〇年間に一四万人も減少しています。特に青少年の都市への流出は激しく学校新卒者の農業就業率も減っており、中学卒の農業就業者は三十年一七〇二人が四十年五六人と大きく減少し、

蔵知……最近農村では後継者問題がや　すと、昭和三十年には三八万七五〇人

に立って推進すること
とが大切でありまし
ょう。

業もワールドエンタープライズの中において進んでゆく段階に入つており、世界的視野に立つて推進するこ

日本の養鶏を眺めて
みると、貿易の自由化、統いて資本の自由化により、養鶏産



試験場のごあいさつ

れます

費削減は大きくなり立ちはかりでなく、それが國の國際収支に對しても貢獻できる。

第三は旅費である。これは機会費で、

であったものが、四十年には二十四万三七〇〇人で、一〇年間に一四万人も減少しています。特に青少年の都市への流出は激しく学校新卒者の農業就業率も減っており、中学卒の農業就業者は三十年一七〇〇人が四十年五六人と大きく減少し、高校卒は三十年一八九三人が四十年には四二一人となり、両者を合わせて五〇〇〇人にもならないのです。農業従事者補充率も三十年四七・二%が四十年には七・六%となり、専業農家に限ってみても三十年一三一%から四十年三八・七%と落ちています。

これから農業は都市の勤労者と同じ所得をあげることを目標としなければならないのですから、相当規模拡大が必要です。県では県勢振興計画にもとづいて昭和五十年に農業所得一五〇万円を目標とするよう指導しておりますが、現在の平均が一戸当たり八〇万円でありますから約二倍の所得を目指しているわけです。そのためには優秀な後継者を育てなければなりません。そこで、今後は生産技術を知っているということだけではなく、激変する経済の変化に対応し、吏員を育成するという目的でいろいろ仕事をしております。

論を導き出すうえに大いに役立っていると考
えられます。

第三に施設費であるが、この中で最も多くは畜産経費で、約四分の一を占めており、これの節減も大いに意義があると考えられます。これに関連した試験としてはケージの複数管理について、数年来試験研究を進めており、その結果、実用化の見通しもつき適切な規格も判明しつつあります。その他若干の試験研究調査を実施しておりますが、重点的にとりあげている主要な試験研究項目は前述したように、飼料費節減、労賃節減、施設費節減に関するものであります。

これらの課題は、県、中国ブロック、西部ブロック、国そのそれぞれの段階で慎重に討議されて、農林省畜産試験場を中心として各県が協定分担して推進しております。

このことは非常に意義のあることであつて、成績評定を能く進め、早急に結果を公表する方針であります。

ものとして農業講習所と三徳農業研修所がございましたが、今年度限りでこれらを廃止して、新たに四十三年度から、今山陽町に建設中の新農業試験場内に県立農業大学校を設置して四十三年四月から開設することになつており、現在学生募集中であります。が、これは二ヵ年制、五〇名の定員で後継者を主な対象として大幅度の教育をしてゆく予定です。それと、従前よりの全国農村青少年教育振興会がやつてゐる県外派遣および県内研修制度があります。

もう一つ重要なものにグループ活動があります。現在県下に八二の農村青少年のグループがあり、一六五九名が参加しております。現在では少数精銳化して機能的な集団となつております。これらのグループは普及所が中心となつて指導に当っております。

一月号 目次

賀 正 惣津律士

コンサルテーション事例紹介

試験場のごあいさつ	今年やりたいと考えていること	橋本 精一
北海道牛買いの旅	度も、皆さんご承知のとおり、一人五〇万円・無利子・五年償還の後継者資金が整備されており、四十二年度には総ワク	5

後継者に対する改良資金関係の融資制度も、皆さんご承知のとおり、一人五〇万円・無利子・五年償還の後継者資金が

だこうというわけです。

藏知：…研修制度の中には畜産技術留学

と長い事業ですが（笑）、これは後継者

の場合は六ヶ月以上、技術者の場合は三ヶ月以上の長期に亘るものですが、一ヵ

あります。現在県下に八二の農村青少年

のグループがあり、一六五九名が参加し

ております。現在では少数精銳化して機

能的な集団となつております。これらの

グループは普及所が中心となつて指導に

当っております。

希望がもてる畜産後継者

小郷：…畜産課の系列を申しますと、から、優秀な後継者を相当数育てている

ことは後継者育成に限られたものでは

ありませんが、畜産試験場に畜産技術講習生制度があつて、畜産經營を行つた

めに地元に合った作目を選んで生

及所単位に地域に合った作目を選んで生

産技術研修やまた簿記の応用による經營

診断、経営設計の立て方等、短期間の經

営技術研修をやつています。県段階の短

期研修は、三徳農業研修所で大型農業機械の研修をしております。また長期間の

もう一つ重要なものにグループ活動が

あります。現在県下に八二の農村青少年

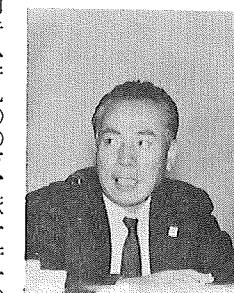
のグループがあり、一六五九名が参加し

ております。現在では少数精銳化して機

能的な集団となつております。これらの

グループは普及所が中心となつて指導に

当つております。



小郷 文雄 農三

うち わけ 氏は酪 農三</

これから農業は社会の中における立派な一つの企業である、という精神を学びにゆきたいのだというのです。そうなると、百姓も最高学府を卒業して企業をやっているのだというプライドを持って経営ができるわけです。

に検討してみて、こうだから農業を離れるのだということを把握しないで、背広をきてとび出している、相当な土地をもっており、い草もやっていて経済的にゆとりをもっておって、月給取りになってもそれだけの収入は得られないのにとび出している。何せ周囲にまどわされているのですね。今は過渡期といえるでしょうね。

のようです。近代化資金等の制度金融、農協の預託制度等どの県でもやっているのでしようが、若いものが二〇〇万も三〇〇万円も金を借りてやることを親が理解してくれるかくれないかが問題だといふわけです。親の理解のない人が多いらしいですね。

藤定……私の所は岡山市の南部、福田種鶏場のすぐ近くですから、都市近郊という特殊性を加味して考えなければなりません。現在ではサラリーマンや商店の方がまわりにどんどん家を建てており、も周囲に攪乱されているのです。具体的に説いておきたいのは、農業者になるべき人もいますが、親子ともどもから規模の大きい農家も多いし、後継者になるべき人もいますが、親子ともども周囲に攪乱されているのです。具体的に説いておきたいのは、農業者になるべき人もいますが、親子ともども



坂田七五三男 氏

とができません、どうしても三ヘクター
ルはほしいところです。私は肉牛を飼っ
ていますが、三〇頭そこらではだめだ、
四〇頭飼って、水田一ヘクタール、い草
を四〇ヘ五〇アールやつても、おやじ一
人で十分やれますから、若いものが牛を
飼うのなら四〇や五〇は飼わないだめ
ですよ。

私はよく県外、県内の農業学校出の研
修生を受入れておりますが、帰ってから
実際にやる場合、資金面で一番困ってい
ます。

いわけですよ。親は自分のいうとおりに働いてもらいたいわけで、そんな屁理窟をいうために金を出して学校にやっているのではないというらしいんですね。先生ほんとに困りましたといってくるんですよ。

坂田：私は研修生に、いっぺんに規模拡大はできないので段階を踏んでやりなさい、そして肥育はそんなに労力がかかるないから余力はおとうさんのお手伝いをしなさいといっているのです。今入っている研修生は長崎県からきておりましたが、研修を終えて帰るときには私がついていって、おとうさんの理解を求める方向にもついてあげましょう、そして近くの普及所にいって私はこのように経営しております、それを教えておりますのでよろしく指導をお願いします、とたのんであげようといつてゐるのです。

今、研修生に六頭の肥育牛をまかせておりましたが、飼うだけの技術は自信ができているようですが、帰ってからの周囲や親の理解が一番心配だとい

詰合せる家庭、つまり中山さんのような

家庭を作ることが大切でしようね。

功をあせらずに

が親
が理
氏 津 律 解 し て く
れ な い、
そ こ

でサラリーマンにでもなろうかと思つて
いたが、親が年をとつて働いている姿を
見ていると氣の毒だという氣持が湧いて
きて、どうしても自分がやらなければと
いう気になつた、そこで熱意をもつて親
と話合つた結果、それではということで
親子ともども取組むことになつたんだと
書いている。やはり誰かが中心となつて

私は三〇才で酪農を始めました。しかも一〇ないし一五年かけて地道に自分の思う規模にしたいと考えて。現代の激しい社会の動きの中では許されないかもしれないが、永い人生ですから若い時の失敗もあってよいのではないでしようか。私ももとは百姓がきらいだった。おやじの借金まぶれの農業を見ていたし、長男だから後をとれといわれると反発して、やるものかと思っていたが、兵隊から帰つてみるとおやじは疲れ果てていてこれから先やれるんだろうかと考え、それではというので一ヶ月間講習所で技術と農業簿記を習つてそして始めたのです。当時教員なり役場務めなりになっていたら私の人生は限られたものになつていたでしょうが、農業をやつたおかげで県下の青年と話合う機会、また全国のいろんな催しに出席させていただけて、いろんな人と意見を交換する機会が持て、私の人

でもとぼしい、でいきおい金を借りて畜産、それも養鶏に手を出したいといううになつて、五〇〇万かりて五千羽養鶏とやって、そしてその間に資金も貯まるように計画をやりたいというわけですよ。しかしどうみても、その人にそれだけの金を貸せる裏付けがないので、徐々に技術をつけをしてその間に資金も貯まるように計画を二千羽に圧縮させたのですが。
やはりじっくり落付いて経営管理的技術を身につけないと危ないですよ。飼う技術はもつっていても、経営技術をもっている人は案外少ない。池田さんのいわれている教育が非常に大切なことになりますね。

養鶏農協のペイジ

新春　ごあいさつ

鶏の鳴き声は
平和をつげる

異質のものだといえそうです。

あけましておめでとうございます。

鶏鳴は平和を告げる声です。夜明けの象徴、新年のおめでたい生命の夜明けであります。しかし、一般には雄を飼うことがなくなってしまいましたから、村落のあちこちから、鶏鳴が聞こえるという風情はなくなってしまいました。この子供は、鶏鳴といつても、さわがしい雌鶏のざわめきくらいに思ふかも判りません。



種鶏場では、もちろん鶏鳴が聞こえます。しかし、種鶏場の鶏鳴は、余りにも羽数が多く、しかも集中的に飼われていますから、昔の鶏鳴といった感じとは、

明けに鳴き、夜鳴くのは不吉だと、今までのよう思っている人があります。だが、今の鶏は、曉を告げるだけではあります。夜、一羽が鳴くと近くの鶏が鳴き、��けて順に鳴いて場内を二、三巡します。そして、パタッとやみます。これが、宵の鳴きかたです。季節によつて違いがありますが、このごろなら、夜中の二時ごろから鳴き始めたら、何回も何回も鳴き巡り、曉にいつせいに鳴くまでやまず、やがて雌を餌にさそう声に変ります。

種雄は、雌羽数の一〇%程度ですが、余備雄もかなりいて、それら雌に配され

ていない悲しい雄まで同じように鳴きます。もともと雄の鶏鳴は、雌を安心させるために鳴くらしいので、雌のいない鶏舎で、雄が鳴いているのは悲しい。それら数千羽の雄鶏がいつせいに鳴くのは、やはり見事であり、それが正月の朝となれば、特別の風情を催すというものです。

鶏鳴は、雌を安心させるためらしいと申しました。試みに、鶏舎の廊下を足音高く歩いてみます。一番手前の鶏房の雄



が「グルッ」というような声で警戒警報を発し、順次鶏房毎に雄が同じ声を出します。そして、足音が遠ざかると、雄は高く鳴いて、雌に危険が去ったと告げる声です。この声を聞くと、それまでさわいていた雌鶏が、みごとに静かになります。曉の鶏鳴も、暗の危険は去った。

わいでのいた雌鶏が、みごとに静かになります。晓の鶏鳴も、暗の危険は去った。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が大きかっただらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、成鶏は、他の病気との合併症でな

ども可能なではないでしょうか。新城

病家が、一人残らずこれらの作業を励

行し、鶏舎内外の厳重な清掃消毒が実行

されるなら、これらの病気を絶滅するこ

とも可能なのではないでしょうか。

新城は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か

らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離

育離をすることです。昨年でもニューカ

ッセル病よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が

大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩

春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か
らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離
育離をすることです。昨年でもニューカ
ッセル病よりマレック氏病の被害の方が
大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が
大きいだらうという人があります。

は秋から初夏、マ氏は年中、ロイコは晩
春から初秋が発症し易い季節です。いず

れにしても、予防がし易いのは、成鶏か
らなるべく遠く離れた清浄な地で、隔離
育離をすることです。昨年でもニューカ
ッセル病よりマレック氏病の被害の方が
大きいだらうという人があります。

また、ロイコチトゾーンは雛のかゝる病

症候群よりマレック氏病の被害の方が
大きいだらうという人があります。

!! 肉用牛の主産地化を目指す上斎原村 !!

肉用牛経営コンサルテーション事例紹介

畜産コンサルタント事業の事例として、の一農化の過去三カ年程の推移を述べ、肉用牛の主産地化を目指して村を挙げて、その經營改善および規模拡大とコンサル推進をはかっている上斎原村と、その中 テーションとの関係について紹介します。

一、上齋原村の概況

八戸・水田一四一ha、畑三四ha、一戸平均耕作面積七四aの一毛作北部山間地帶で、稻作と和牛に依存する積雪寒冷地帶です。

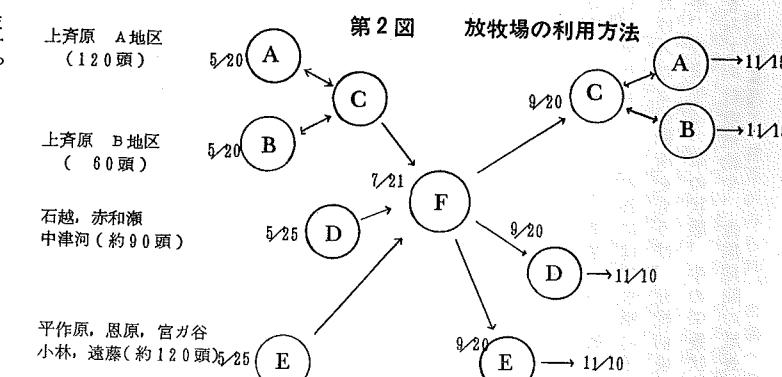
昔からの放牧慣行地帯で、放牧地は村内六カ所所轄面積七〇六ha、この内草地改良面積は四十一年六二haで、四十一年度から三ヵ年計画で一三五haの大規模草地改良事業を恩原村営放牧場に実施中で、四〇〇頭くらいに減少した肉用牛を一、二〇〇頭を目指し肉用牛の主産地化をはかりており、現在約五〇〇頭になつています。

の一農化の過去三カ年程の推移を述べ、その經營改善および規模拡大とコンサルテーションとの関係について紹介します。

牛の導入は農協預託牛制度と、県畜産公社の貸付牛によっています。最近子牛の価額が急激に高くなり、畜産公社の貸付牛を受入れるにも六万円程度の自己負担がいるので、これについては村役場が保証と利子負担をして、農協から資金を借り入れるようにして便宜をはかっています。

合せて前に述べましたように、村営恩原放牧場に大規模草地改良事業を行なって、半年間村内の牛を全部預るように計画しています。入牧料は成牛一頭一日七〇円のところ二〇円村が負担して五〇円の予定です。

肉用牛飼育農家は頭数をふやそうと思えば牛は資金なしで導入でき、利子も不要、その上半年間は安い放牧料で預りつてもらえるという大変恵まれた条件にあり



注 上齊原A、B地区は (A) (B) (C) を20日間くるいで輪換する

況を調査し、問題点について助言指導をして、個々の農家で解決のつかない点については部落、村全体で改善をはかるよう助言指導を続けてきました。

二、村の放牧利用の状況

この村の今迄の放牧利用の状況は前
第一、二図のとおりです。

し、部落によつては二つの放牧場を二〇日毎に輪換し、七月二十日迄利用します。部落の放牧場は数年前一部を草地改良し、毎年村から補助をもらって施肥等をし、労力提供くらいで維持し、放牧料は

七月二十一日に全村一斉に恩原放牧場へ入れ、こゝに約二カ月間おきます。こゝは今迄はシバ型の自然草地で、単位当たり生草産量は極めて少ないところですが、標高千米を最高として、夏期極めて涼しいため、昔からの習慣として利用し、その間部落の放牧場を休ませていたわけで

しかししながら実際に牛を飼うことになると色々と問題もあり、村全体と個人の改善努力を必要とし、今後研究をしなければならない事が山積しており、畜産コンサルタント事業の必要も生じているわけです。

昭和四十年からこの地区は村役場が受象としてコンサルテーションを行ないま

銅期間を延長し、種付してから放牧し、子牛を販売する二ヵ月くらい前からまた舎飼いに移して子牛の銅い直しを行なうようになってきており、舎飼いする牛が多くなっています。

また、部落の放牧場に入れている間は、近いので時々看視に行って、食塩、濃厚飼料の補給をしています。

恩原放牧場には一人専属の管理人がいて全頭の健康管理、発情等の看視を行っています。この人は二~三〇〇頭の牛を、頭ごと見分け、どこの家の牛かおぼえているということです。

四、共通の問題点

五、改善対策

映画で勉強しよう	販出料一本一、〇〇〇円 フィルム名
飼育農酪農経営の改善、乳牛のエサと栄養障害、牛の栄養と消化	酪農
飼育成功する養鶏経営、養鶏	養鶏
草上手な牧草の作り方と利用、水田に草を作る人々	草
申込先 岡山市桑田町一の二 社団法人 岡山県畜産会 電話 (岡山)二二一八五七五	申込先

今迄の一般的な飼い方として、冬期は夏の盆すぎから刈取った刈干しと稻ワラと濃厚飼料で牛を飼うという方法です。採草地は村有の山を一戸当り一haと、水田一ha当たり採草地一haくらい借りて、昔からのこれも習慣として刈干しをし、牛の飼料兼敷料として最後に水田へ堆肥として利用していくものです。

この習慣も段々と薄れて来て、採草地の利用を減少しているようです。反面水田裏作にイタリアンライグラスの作付を始める人が現われてきつつある状態ですが、根雪期間が長いので雪腐れにやられるなどの障害もありますが、研究を重ねて良い成績を収めている人も出ています。

三 冬期の飼養管理

サイロの設備と利用についても一部の人が利用している状態で、冬期間続けて多量給与する程の材料の確保は水田裏作の未利用、畑地一戸当たり一四aという狭さの為むずかしいようです。

四、共通の問題点

何戸か調査した結果の共通的な問題点としては次のとおりです。

前項の要點は次のとおりです。
法として、農家に助言指導を続け、村へも要望して来た事項の要点は次のように改善代としては少し遅れているようで、放牧利用をしても子牛を高く売るよう改めが必要となります。

放牧に向いた牛の条件としては、なるべく放牧地帯で生産された牛で、巾、深みがあり草の食い込みがよく、泌乳能力の高い牛が必要です。

(二) 放牧中の管理

分娩前後余分の栄養を必要とする母牛や、草の食い込み量が十分でない上、沢山の栄養分を必要とする育成牛は、平坦で良質の草の十分にある改良草地に入れてやる必要があります。

子牛は二、三ヶ月すると母乳だけでは栄養分が不足するので濃厚飼料の補給をしてやります。この為には放牧場に子牛だけ入れる給餌所をもうけ、分娩前後の牛、育成牛は、草の状態、牛の栄養状態をみて飼料の補給や、舍飼期間の延長を

申込先 岡山市桑田町一の二
社団法人 岡山県畜産会
電話 (岡山) 二二一八五七五

必要とします。

理想としては季節種付をして十一月頃分娩するようにして、分娩後の母牛の飼育管理、子牛の管理は舎飼中に出来るようにして、春種付して妊娠した牛を放牧場に出すようすれば、放牧に伴なう色々の問題も相当解決できます。

しかしこれは現実問題として、指導者の側から、全頭冬積雪期に種付することになれば人工授精師の手が廻りきらなくなろう、という反対も出て実施されません。

また一放牧場一牧区となっているのを数牧区以上に区切って輪換放牧して、草生の維持と有効な利用をはかる必要があります。

勞 動 人	夫婦 2 人
1 毛 田	125 a
1 0 a 収量	米 360 Kg
畑	34 a
採 草 地	150 a
山 林	300 a
耕 運 機	1
発 動 機	1

(2) A 農家の問題点と改善効果
水田裏作のイタリアンライグラス作付改善と増反によつて、肉用牛多頭化の方針へ着々と進んでおり、現在まだ育成牛の率が高い上に成牛も初産前後の若牛がなく、子牛の販売収入が少ないので経営的には最も苦しい時期と思われます。

水田裏作にイタリアンライグラスを作付し、これをサイレージ利用する。八月下旬より九月上旬水稻中播をして年内一回利用、春一と二回利用。施肥も耕種基準に従つて施し、雪廩れ病対策として、積雪前に防除薬を散布し、一応刈取つて五

六cmくらいに短くして越冬させた冬期流水カンガイを施すと

い若い時期に刈取って、サイレージ利用を考えるようにしたほうがよろしい。

以上の方針により、現在の平均二・三頭の牛の冬期飼料は容易に確保出来、それ以上の頭数でも水田裏作の面積の増加栽培技術の向上で可能と思われます。サイロ詰込については基本的条件に合った方法に従つて行う。

その他細かい点についても助言指導をはかつたわけです。

六、
效果

牛が、国内産未経産一区二五頭、同二区二五頭、同経産三〇頭、外国産経産二〇頭、計一〇〇頭が出品される予定である。

第2表 飼育頭数の推移

	38年末	39年末	40年末	41年末	42年末	43年末预定
成牛		1	2	4	4	
育成牛	1	2	3	1	3	...
增减		+2	+2	0	+2	

第3表 経営の推移

	39年	40年	41年	42年	43年予定
成牛売却頭数	0	0	0	1 (¥105,000)	
育成牛導入〃	2	2	0	3	
子牛生産〃	0	1	2	3	
子牛販売〃	0	0	1	2	
同上価額			♂ 65,000	♂ 73,000 ♂ 65,000	
裏作付面積		8a	8a	30a	
設 備	牛房4	同左	同左	牛舍改築 牛房7 サイロ設置	サイロ増 予定

(2) A 農家の問題点と改善効果

水田裏作にイタリアンライグラスを作付し、これをサイレージ利用する。八月下旬より九月上旬水稻中播をして年内一回利用、春一と二回利用。施肥も耕種基準に従つて施し、雪廩れ病対策として、積雪前に防除薬を散布し、一応刈取つて五

六cmくらいに短くして越冬させ
また冬期流水カンガイを施すと

い若い時期に刈取って、サイレージ利用を考えるようにしたほうがよろしい。

以上の方針により、現在の平均二・三頭の牛の冬期飼料は容易に確保出来、それ以上の頭数でも水田裏作の面積の増加栽培技術の向上で可能と思われます。サイロ詰込については基本的条件に合った方法に従つて行う。

その他細かい点についても助言指導をはかつたわけです。

第一回 金田一耕

日本ジャージー登録協会の主催で、四十三年十月十日～十三日の四日間蘇山で開催されることに決定した。これはジャージーが我国に導入後、

それと併行して四十一年度から恩原放牧場に大規模草地改良事業が実施されており、全二九一haの内一三五haが草地改良されつつあり、牧区は二六牧区に分たれ、四十四年からは本格的に使用できる見通しです。

一般的の改善効果として、分娩前後の飼

科学的な畜産技術、知識は「岡山畜産便り」から

読者の皆さま、明けましておめでとうございます。希望にあふれた新年を迎えたことと併せて日本農業も、貿易自由化が進められてゆく中には、従来の保護農業から脱却しなければならないだろう。それには経営規模の拡大も必要であるうが、まず基礎的な技術、知識を身に付けることが先決問題である。

現在、農業者、技術者の手元には種々の雑誌が氾濫状態であるが、これらより直接新しい技術、知識を吸収することはなかなかむずかしい点が多い。そこで岡山畜産便りでは、これから企業的専門畜産を育て、伸ばしてゆくための必要知識を橋渡しするようますます拡充していく所存であります。発刊以来すでに一九年、来年は成人式を迎えるまでに成長してきたこともひとえに読者諸賢のご支援の賜ものと感謝いたしております。

こんどとも、倍旧のご愛読を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

本誌の予約申込要領

誌代一部五十円（送料共）
但し一部購入の場合は増頁号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も一部五十円のサービス価格とす。

集団申込の特典

十部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十五円にします。百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十円に割引きます。但しこの場合の一括購読ですから個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。

集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山市桑田町一丁目二番地
社団法人岡山県畜産会指導課
(電話) 岡山 ②8575番
(口座番号) 岡山八五七五番

本誌の予約申込要領

編集室から
謹んで新年の
お慶びを申し上

編集室から

お慶びを申し上げます

本誌も皆様方のご援助により、昭和二年発刊以来一八六号を迎えました。集員一同皆様に読んでいただけるものるために努力いたしておりますので、つては青色申告をしておられるであります。やかなことでしよう。

税金問題も遂に今年は実質減税は零と

いうことになりそうです。企業經營をや

畠産界は今年もなかなかにぎやかなよ
な気がします。どの部門を眺めてみて
大きな問題が累積されているようで
。畜産を前進させるためには、一つ一
の問題を解決して行かなければなりま
ん。予想される問題に対しても早目早
に対処して行きたいのです。
特に防疫対策だけは充分に行いたいも
のです。

申告の時期になると税金問題でやかまし
いことです。農家も早く青色申告にもつ
て行きたいものです。

○今月は農業後継者問題を取り上げまし
た。良い後継者が農村に残るよう、農
業経営者自身がもつと自信をもつてほし

岡山畜産便り（一月号）

ジャージー種が導入されて十五年目を
えました。これを記念して十月には第
回全国ジャージー種乳牛共進会が蒜山
原で開催されることに決定しました。

一昨年の全国和牛産肉能力共進会に結
ての全国共進会です。県民が一致して

第4表 イタリアンライグラスの
栽培状況(10a当たり)

作付面積	播種期	播種量	基肥	追肥	収量
40年	0.8a	9月上	2Kg 堆肥 尿素 5Kg	尿素 5Kg	800Kg (1回刈取)
41年	0.8a	9月上	2Kg 堆肥2000Kg 培養土 5 塩加 5	尿素10×3 Kg — —	3000Kg (2回刈)
4.2年 (マンモス)	3.0a	8月下旬	2Kg 堆肥2000Kg 硫安 40 培養土 30 塩加 40	— 40Kg 10 30	5000Kg (3回刈)

つています。この五頭は何れも四十年度迄に導入した牛で、その後導入された牛については現在種付前で数字が出ていません。
平均分娩間隔はそれ程悪くなく次回分娩予定をいれて、一ヵ月程度になつてあります。四十一年後半から分娩の牛は、大体分娩後おそらく四ヵ月以内には種付を終了しています。
子牛の販売価額については、三頭共雄で、四十二年の一頭は母牛が哺乳を嫌つて、発育不良となり早く販売し、特に安くなつたために、改善効果が未だ現われていません。
自給飼料の栽培状況については、第四表のとおりの推移となつて、改善効果が

サイロの設置も、四十一年度迄はありませんでしたが、四十二年春、五×八×五・三尺の地上式角型サイロを一基設置し、夏雑草を埋込んでいます。頭数に對してはまだ容積が不足しています。これは将来継ぎ足して行って、バンカーサイロとして使用する予定です。

七、今後の問題

四十二年度のコンサルタント事業を受ける際に、上斎原村より提出された依頼項は、

うところまでいっていません。規模拡大につれて新しい問題点もおきることが想されますが、今後も相談相手となりこの地区の中核的農家として盛り立ていくつもりです。

この二点について解答を求められ、現在在助言書作成中です。

(一)については恩原放牧場の草地改良が完成すれば、春から全頭放牧が出来、部落有の放牧場は利用しなくともよくなる見込だそうです。

村としては、恩原放牧場に放牧についての専門技術をもつ管理者をおき、二六牧区の牧野を有効に利用して、春の余剰草は簡易サイロに貯蔵して不足時に備え、育成牛、妊娠牛、授乳中の牛については特に栄養不足にならないよう管理をし、子牛には別に濃厚飼料を給える設備をもうけ、半年間は飼養給与、衛生管理、繁育管理などを行つて、改良草地の草の量が飼育頭数を決定する要因となるの

て希望者の募集を行つてるので、三四年で研修をうけさせると、大規模草地改良が終つて本格的に利用開始できる四十四年にちょうど間にあります。

畜産会議などについて理想的な管理が行なえるようになる計画のようで、更に草が余れば繁殖育成センターの設置を考えています。

その場合これを管理する人の知識技術が最も問題になると思われます。このためには、先進地の放牧場等で半年以上研修させ、放牧技術、草地の管理利用技術、家畜の飼養管理技術についての最新の技術および知識を習得させる必要がありま

す。

中央畜産会が実施している育成牧場管

理者技術研修事業は、国の補助によつて造成し、地方公共団体、農協等が管理経営している育成牧場（計画中を含む）の務担当者又は予定者を対象として、國の種畜牧場で一〇カ月または夏期五カ月、詰込技術の普及、サイレージ共励会等の前記の技術について研修を行っています。開催を行ふところ、大いに効果的で、水田裏作については可能な限り作付し、畠地の利用、採草地の利用など個別的に利用できるものを最大限利用し、地域的に裏作の不可能な地帯については、部落放牧場の採草利用について、道路整備など村の積極的援助が必要と思われます。

水田裏作の自給飼料作付の可能性について、役場周辺の部落では排水良好でイタリアンライグラスの作付が可能ですが、中部以北ではまだ作付したことがないようなので、試験的に作付してみたり、この地方に適合した品種、栽培方法を更に追求する必要があります。

この為には村で各部落毎に試験田をもって研究を進め、サロード設置への助成、

岡山畜産便り（一月号） 第十九卷 第一号
（通巻第百八十六号） 昭和四十三年一月一日 発行
発行人 惣津律士 編集人 蔵知毅士
発行所 岡山市桑田町一の二
岡山県畜産会 岡山市内山下七
振替 岡山八五七五番
電話岡山②八五七五番
印刷所 岡山市内山下七
ふじや高速印刷
電話代表②四五五一番
一部五十円（送料共）